



国際戦略局国際協力課国際展開支援室主査

一方井 美湖

IKKATAI HARUKO

平成22年 4月 総務省採用
 東北総合通信局総務部総務課企画広報室
 平成23年 7月 東北総合通信局無線通信部陸上課
 平成24年 4月 情報通信国際戦略局国際協力課
 平成26年 8月 総合通信基盤局電波部電波政策課電波利用料企画室
 平成28年 7月 情報通信国際戦略局情報通信政策課
 平成29年 9月 情報流通行政局情報通信政策課
 平成30年 1月 情報流通行政局情報通信政策課主任
 平成30年 4月 現職

日本のICTを世界へ

双方にメリットのある提案

私の所属する国際協力課は、日本のICTの海外展開を目的に、アジア、アフリカ、中南米地域等に向けた働きかけを行っています。

私は東南アジア地域の5カ国と東南アジア諸国連合(ASEAN)を担当しており、国内外で開催される各種会議や、各国にソリューションを提案するための調査研究事業の対応をしています。日本には多くの優れた技術・知見がありますが、それを各国に導入してもらうためには、その国のニーズを理解し、合致するソリューションを丁寧に提案していく必要があります。そのため、各国在外公館の書記官とも連携し、対象国と日本で将来のイメージがずれないように注意しながら、双方にメリットのある案件形成に向けて日々取り組んでいます。

また、上記担当国以外の案件であっても、トップセールスのための政務出張や大きな会議の際には、チームに加わることもあります。

自分も新しいことを学び続ける

私は、官庁訪問をした際「今、そして未来も、人々の暮らしを豊かにできるのがICTである」という話を聞き、総務省で働きたいと思いました。今、その時の自分の選択は間違いではなかったと思っています。

無線局への免許、電波利用料予算の取りまとめ、マイナンバーカードの利活用など、異動の度に全く異なる業務を経験してきました。現在は2回目の国際協力課ですが、前回とは違った仕事をしています。ICTの発展を支えながら、常に新しいことを学ぶ必要があるところも、総務省の楽しさの一つです。

みなさんには、今まで自分の強みとして頑張っていたことをベースにしつつも、これから何がしたいかは、あらためて考えてみて欲しいと思います。ICTに興味があれば総務省はおすすめです。国際の仕事に興味があるけど英語が不安・・・という人は今から勉強しましょう。私も得意ではありませんが、日々努力中です。

Q 総務省の魅力は？

A 風通しの良い職場であると感じています。国際部は、大きな会議や海外出張で上司、部下はもちろん、他の担当、他の課の職員と一緒に取り組む機会も多いので、特にその傾向が強いかも知れません。

Q 入省後、成長したと思うことは？

A 物事を色々な角度から見られるようになったことです。仕事を進める上では、関係する様々な立場の人の意見を聞く必要があり、自分になかった視点に気づかされることも多いです。自分自身の考え方も、異動の度全く違う業務を経験することによって、広がってきたと思います。

Private Time

週末はゆっくりと過ごすことが多いですが、長期休暇が取れる時にはなるべく旅行に行くようにしています。普段の生活圏から離れ、違う文化の中で過ごすこと自体が気分転換になります。次はどこへ行くかと考えることも楽しみです。

